

新ワイド散布機

取扱説明書

UHW-450



ワイド散布機をご使用になる前に

- 当社製品を安全かつ正しく快適にお使いいただくために、必ず本取扱説明書をお読み下さい。誤った使用方法は事故をひきおこす恐れがあります。
- お読みになったあとも必ず、製品と共に保管して下さい。
- 本製品を貸与または譲渡なさる場合は、この取扱説明書を必ず添付してお渡し下さい。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、すみやかに販売店にご注文下さい。
- なお、本製品は安全対策や、機能向上のため使用部品の一部変更を行う場合があります。このためイラストなどの一部が本製品と一致しないことがありますのであらかじめご了承下さい。
- また、ご不明の点やお気づきのことがございましたら、お買い上げ頂きました販売店、農協などにご相談下さい。



印付きの下記マークは、安全上、お客様にかかわる重要な項目です。
必ず、お守り下さい。



危険 その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



警告 その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注意 その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。



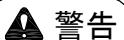
株式会社 タイショウ

TAISHO

目 次

■ 安全に作業をするために	1 ~ 3
■ 使用上の注意	3 ~ 4
■ 組立手順	5 ~ 8
■ 散布分けの仕方	9
■ ロート取付時の注意	9
■ ロールの外し方	9
■ スタンドの取付	10
■ 使用後の管理	10
■ 故障の原因と対応について	11
■ 操作説明（スイッチボックス）	12
■ 散布量目盛りの決め方	12~13
■ 分解図・部品表	14~21
■ 仕様諸元	22

■ 安全に作業をするために

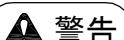
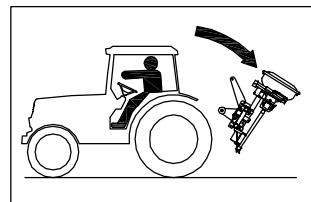


散布機の装着が完全であることを確認する。

ご使用になる時は、毎回必ず3点リンクの取付けや、抜け止め用のリンチピンが付いているか確認して下さい。

【守らないと】

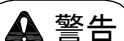
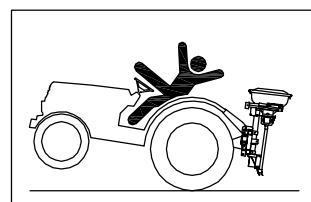
散布機が脱落し、事故をまねく恐れがあります。



散布機装着後、トラクタの前後バランスが悪い時は、フロントウェイトを装着して下さい。

【守らないと】

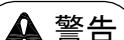
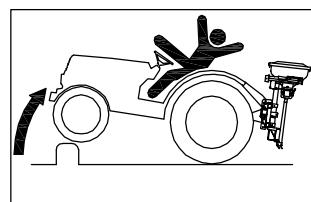
バランスを崩し、転倒事故を起こす恐れがあります。



散布機装着後のトラクタの運転は慎重にする。

【守らないと】

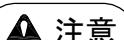
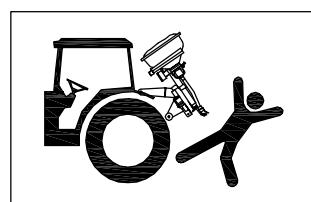
特に、畦などの段差を乗り越える際には、トラクタ本体のバランスを損ない、転落事故をおこす恐れがあります。



トラクタと散布機の間や、散布機の下には入らないで下さい。

【守らないと】

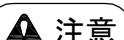
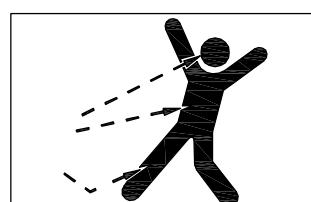
不意に散布機が下がったり、トラクタが動いた時に、死傷事故を起こす恐れがあります。



散布作業中は機械に近づかないで下さい。

【守らないと】

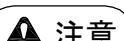
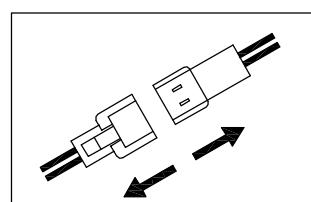
飛散物が当たってケガをすることがあります。



保守・点検・整備の時は必ずトラクタのエンジンを停止し、散布機のコネクタを抜いて下さい。

【守らないと】

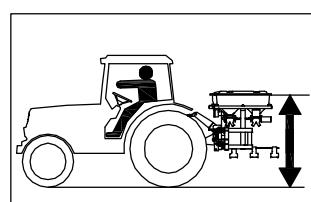
機械が急に動き出したりしてケガをする恐れがあります。

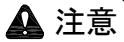


ホッパーの開閉は本体を水平にして行う。又、開閉のロックはしっかりととする。

【守らないと】

本体が自然と回転しケガをする恐れがあります。





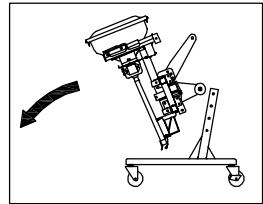
注意 散布機の着脱は、固くて平坦な場所で行って下さい。

【守らないと】

事故をおこす恐れがあります。

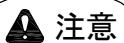


注意 スタンドの取付けは確実に行う。



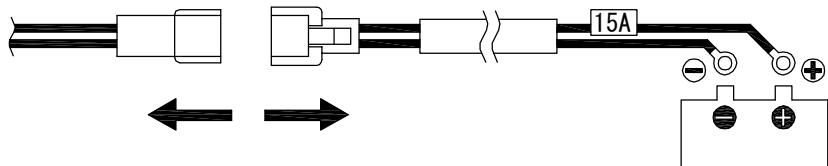
【守らないと】

本体が落下したりしてケガをする恐れがあります。



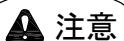
注意 バッテリーへ接続する場合は正しい手順で行う。

バッテリーへの接続は+側を先に接続し、電源カプラを外した状態で行って下さい。



【守らないと】

ショートして火傷や火災事故をひき起こしたり、ケガをする恐れがあります。



注意 コードは、エンジン等の高温部や舵取り機構等の可動部、板の端部等の鋭端部には取付けない。

【守らないと】

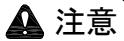
ショートして、火傷や火災事故をひき起こす恐れがあります。



注意 散布機を上昇下降させた時、コードが突っ張ったり、緩み過ぎたりしないことを確認する。

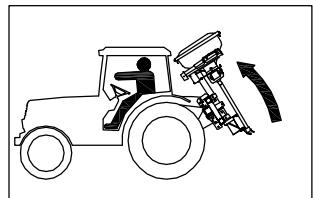
【守らないと】

ショートして、火傷や火災事故をひき起こす恐れがあります。



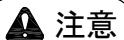
注意 散布機を上昇させた時、トラクタに当たらないことを散布作業前に確認する。(キャビンタイプ後方窓も)

安全な位置で上げ規制を行って下さい。

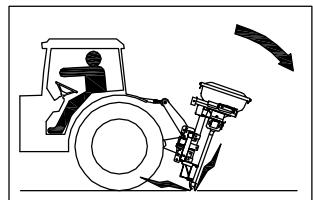


【守らないと】

散布機およびトラクタが破損することがあります。



注意 散布機を急激に上昇下降させない。
畦などの段差は運転を慎重にする。



【守らないと】

散布機が破損したり肥料をかぶる恐れがあります。



注意 散布機を装着したトラクタで一般道路を走行しない。

一般の公道を走行するときは、散布機を取り外して下さい。

【守らないと】

道路運送車両法に違反します。



注意 散布機を使用する時は、防塵マスクなどを身に付ける。

特に、ホッパーへ肥料を投入する際には肥料の吸引を避けられる
ような服装で行って下さい。

【守らないと】

肥料を吸引すると健康を損なう恐れがあります。



注意 機械の改造禁止

散布機を改造して使用しないで下さい。

【守らないと】

事故・ケガ・機械の故障をまねく恐れがあります。

■ 使用上の注意

下記のような肥料は散布できません。ホッパー投入前にご確認下さい。

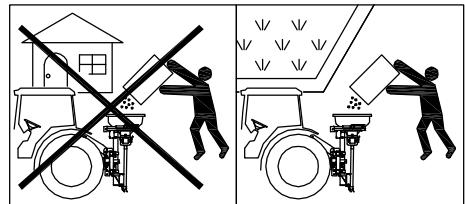
- ・ 形状の大きな肥料
 粒径 6 ミリ以上の肥料や、長さ 10 ミリ以上のペレット肥料
- ・ 湿った肥料
- ・ 流れの悪い肥料
 米ぬかのように滑り落ちづらく、ホースに詰まりやすい肥料
- ・ 粉状の肥料
 消石灰及び粉状の肥料

下記のような肥料は安定した散布が出来ない他、モーターがロックしてしまう
ことがあります。ホッパー投入前にご確認下さい。

- ・ ケイフン等の固い肥料

肥料の投入は圃場で行って下さい。

肥料を事前に投入して、路上走行などをしてると、肥料が振動等により押し固められて散布機が故障する原因となります。



ホッパーには肥料以外の物は投入しないで下さい。

また、ホッパーへ肥料を投入する際は、電源スイッチを切って下さい。

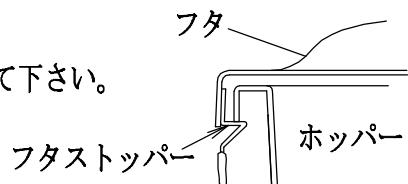
ホッパーのフタは確実に締める。

フタストッパーがホッパーのうちに確実にかかっているか確認して下さい。

【守らないと】

(1ホッパーに2箇所)

フタが飛ばされてしまいます。

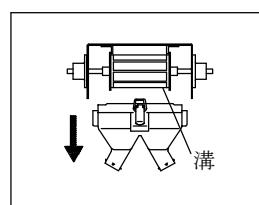


作業終了後はホッパー内の肥料を完全に排出して下さい。

ホッパー内に肥料が残っていると、吸湿作用により固着して散布機が故障する原因となります。

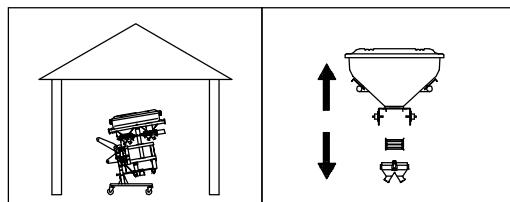
連続して作業を行う場合には、ロート受部からロールを取り外しロールの溝をていねいに掃除して下さい。(9ページ ロールの外し方参照)

ロールの溝が詰まった状態になると誤量散布の原因となります。



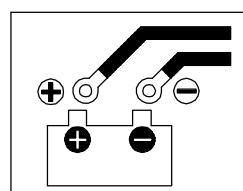
長期保管の前には分解清掃をして下さい。

保管は屋内などの電気系統に水が掛からない場所にして下さい。



バッテリーへの接続は+/-を間違えないで下さい。

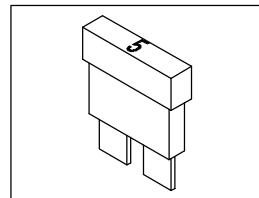
逆接続では散布機は動作いたしません。



ヒューズは指定の容量を使用して下さい。

使用しているヒューズは平型5Aで3つです。

ヒューズが切れた場合は、過負荷の原因を取り除いてからヒューズを交換して下さい。



雨天時には散布機は使用できません。

肥料詰り等により故障の原因となります。

■ 組立手順

A. トラクタへの装着

オートヒッチ装着の場合

- (1) Aフレームのロック解除レバー

をロック側に倒しておきます。 **ロック解除レバー**

自動ロック機構でない場合は、

装着後にロックして下さい。

- (2) Aフレーム上部のフックで

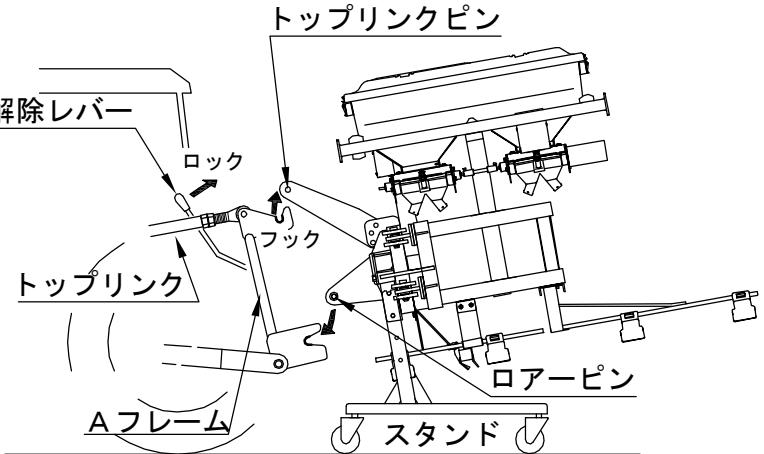
散布機のトップリンクピンを
すくい上げます。

自動的にロアーピンも結合します。

うまく結合できない場合は、トップ
リンクの長さを調整して下さい。

※スタンドの高さが足りず、装着が行えない場合は、

別紙『広幅散布機（UHW）開梱のしかた』を参照して下さい。

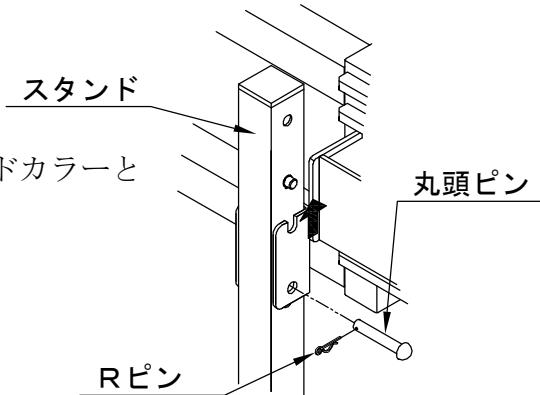


- (3) 左右のロアーピンが確実にロック
されていることを確認して下さい。

- (4) OS仕様の場合、Aフレームに合わせ付属のガイドカラーと
トップリンクカラーをお使い下さい。

- (5) 散布機装着後、スタンドを外して下さい。

丸頭ピンを外してから、スタンドを持ち上げると
簡単に外せます。

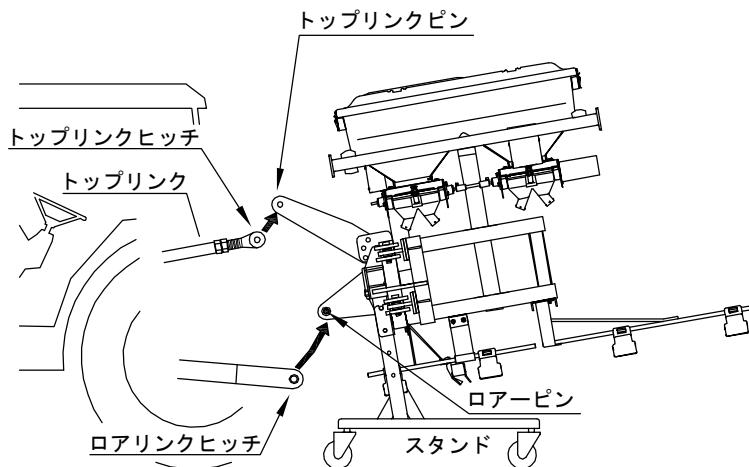


手動装着の場合

- (1) 左右のロアーリンクヒッチに
ロアーピンを通して取付けます。

- (2) トップリンクの長さを
変えたりしながら、トップ
リンクヒッチにトップリンク
ピンを通して取付けます。
抜け止めの為、トップリンク
ピンと左右のロアーピンに
リンチピンを取付けます。

- (3) 散布機装着後、
スタンドを外して下さい。

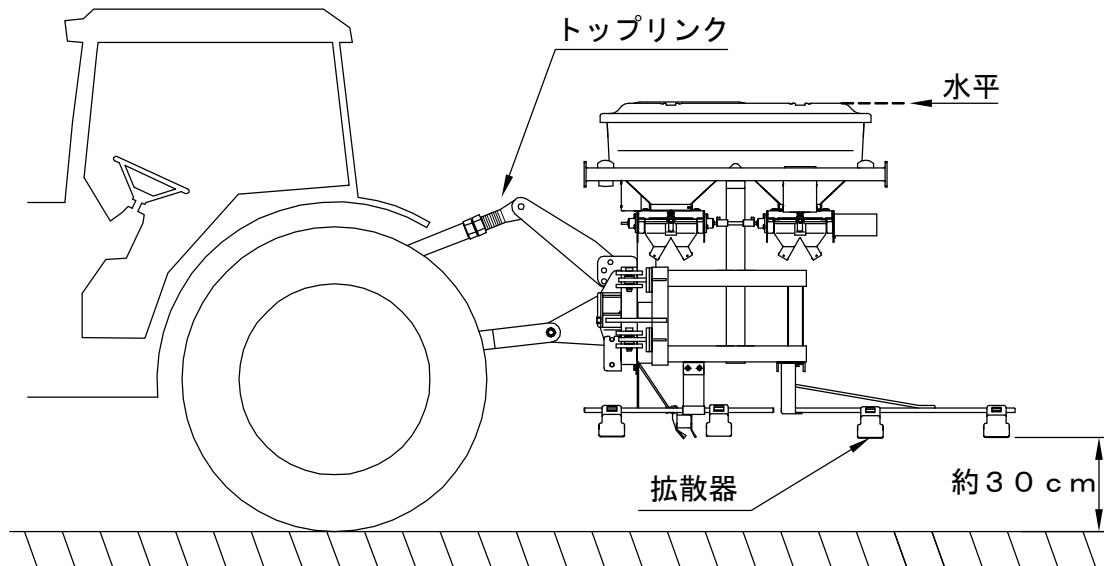


※ 散布機の取付、取り外しは固くて平坦な場所で行って下さい。

※ Aフレームのロックや、抜け止め用のリンチピン等散布機が完全に装着されていることを確認して下さい。

B. 姿勢調整

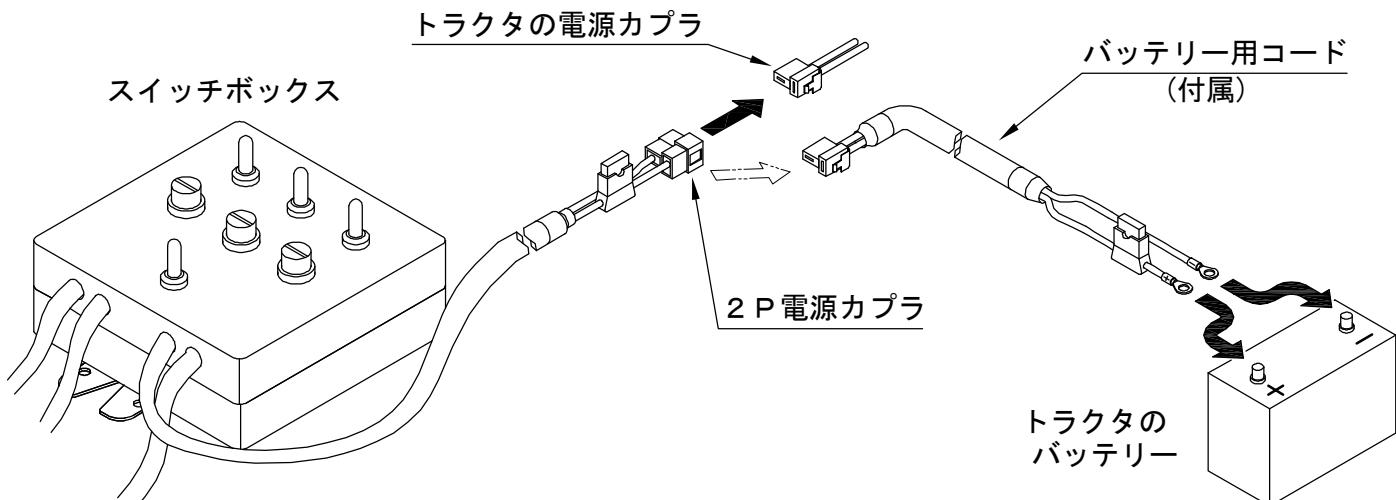
- (1) 散布機を上昇させた時、トラクタのキャビンやボディに当たらないことを確認して下さい。
当たる時は、3点リンクの高さ規制をして下さい。(キャビン後方窓も確認下さい。)
- (2) 作業時に拡散器を引きずらないような高さ(地上高約30cm)で水平姿勢になるよう、
トラクタの油圧上下やトップリンクの長さを調整して下さい。
- (3) 散布機が横揺れし過ぎないよう、左右のチェックチェーンを適度に張って下さい。



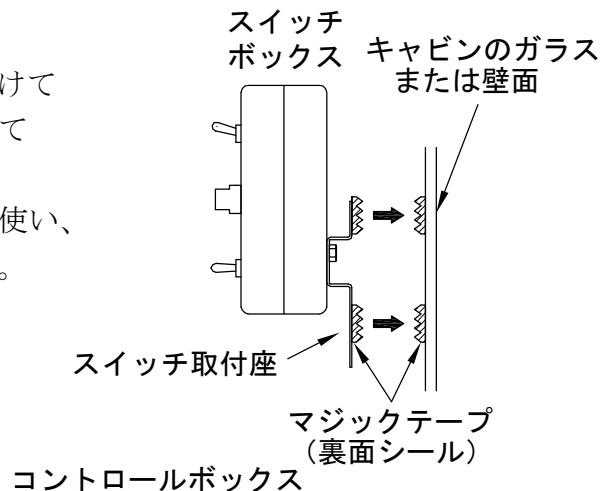
※ 畦などの段差を乗り越える場合、拡散器が当たり破損する恐れがありますので、
慎重に運転して下さい。

C. 配線およびスイッチボックスの取り付け

- (1) スイッチボックスの電源カプラをトラクタの電源カプラに接続して下さい。
トラクタの電源カプラはシート後部に有ります。(トラクタによって、取り出し位置が違うものや、電源カプラの無いものもあります。)
トラクタの電源カプラが無い場合は、付属のバッテリー延長コードをトラクタのバッテリーに接続し、そのカプラをスイッチボックスの電源カプラに接続します。

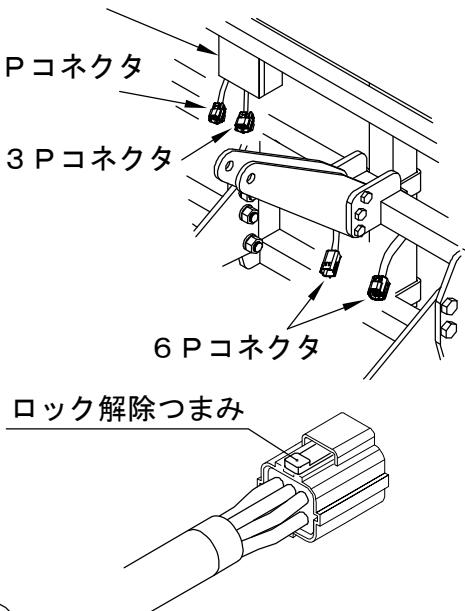


(2) スイッチボックスを運転席の操作し易い所に取り付けて下さい。トラクタのフェンダーの取手などを利用して取り付けると便利です。また、ボルト、ナット等で取り付けられない場合は、付属のマジックテープを使い、キャビンのガラス等の平らな面に取り付けて下さい。



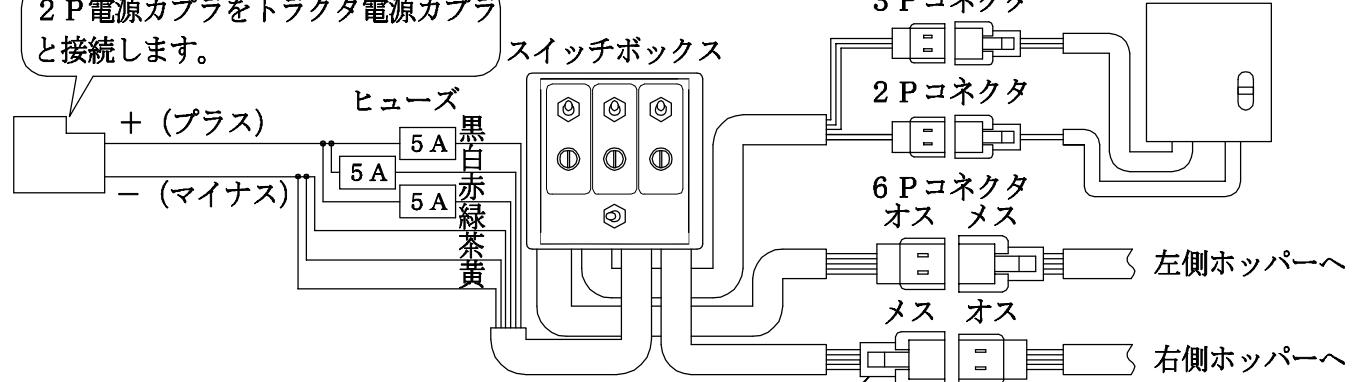
(3) 散布機をトラクタに装着後、スイッチボックスの2Pコネクタ及び3Pコネクタを中心のホッパーのコントロールボックスに、6Pコネクタを本体中央部より出ているコネクタ(オスとメスで合計2つ)に接続します。

- ・コネクタには方向性及び、オスメスが有ります。
オスメスの組合せで、カチッと音がするまで押し込んで接続して下さい。
- ・コネクタを抜く時は、ロック解除つまみを押しながら抜いて下さい。



スイッチボックスの2P, 3Pコネクタと中央ホッパーのコントロールボックスのコネクタを接続します。

2P電源カプラをトラクタ電源カプラと接続します。



スイッチボックスの6Pコネクタと本体中央部にある6Pコネクタを接続します。オス・メスがありますので、組合せて取付けて下さい。

※ コードの取付けは、トラクタの高温部や舵取り機構等の動く箇所を避けて取付けて下さい。また、散布機を上下させた時にコードが突っ張ったり、緩み過ぎてタイヤに巻き込まれたりしないような長さで固定して下さい。

D. ホッパーの開閉

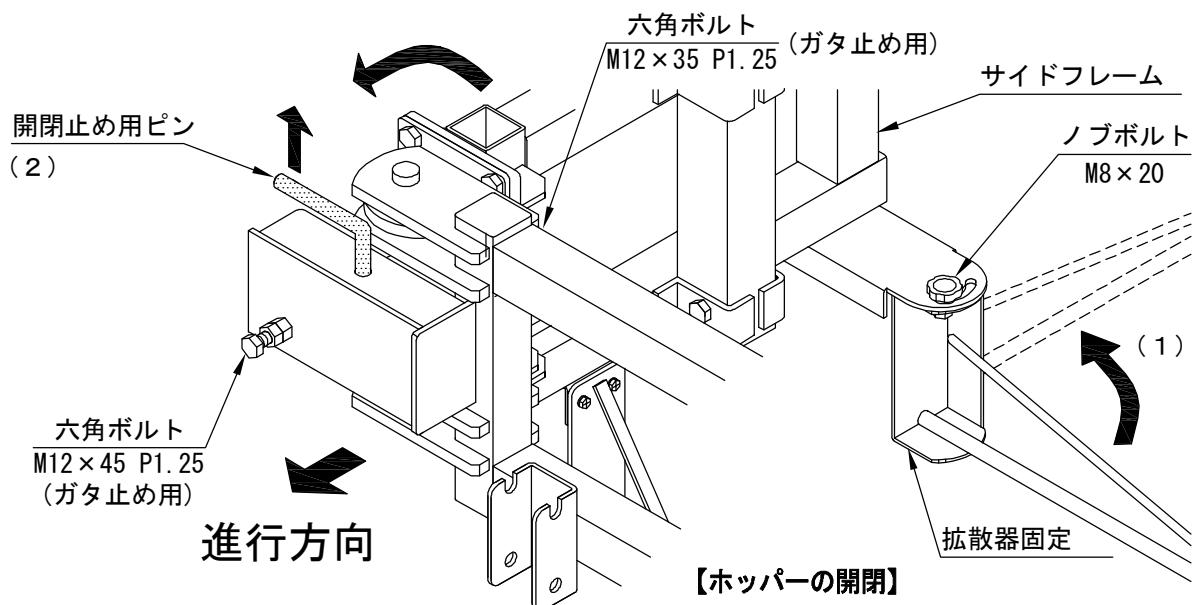
- (1) 拡散器固定のノブボルトをゆるめ、サイドフレームと平行になるよう拡散器固定を回転させます。回転後はノブボルトをしっかりと締めて下さい。
- (2) 開閉止め用ピンを上にあげながら、サイドフレームを回転させます。回転はじめたら、開閉止め用ピンから手を離して下さい。
- (3) 90度回転すると、自動でロックが掛かります。

ホッパー開放手順は以上です。ホッパーを閉じる場合も同様に開閉止め用ピンをあげながら回転させて下さい。

※ホッパーの開閉は必ず本体を水平にして行って下さい。傾いていると本体が自然と回転し、ケガをする恐れがあります。

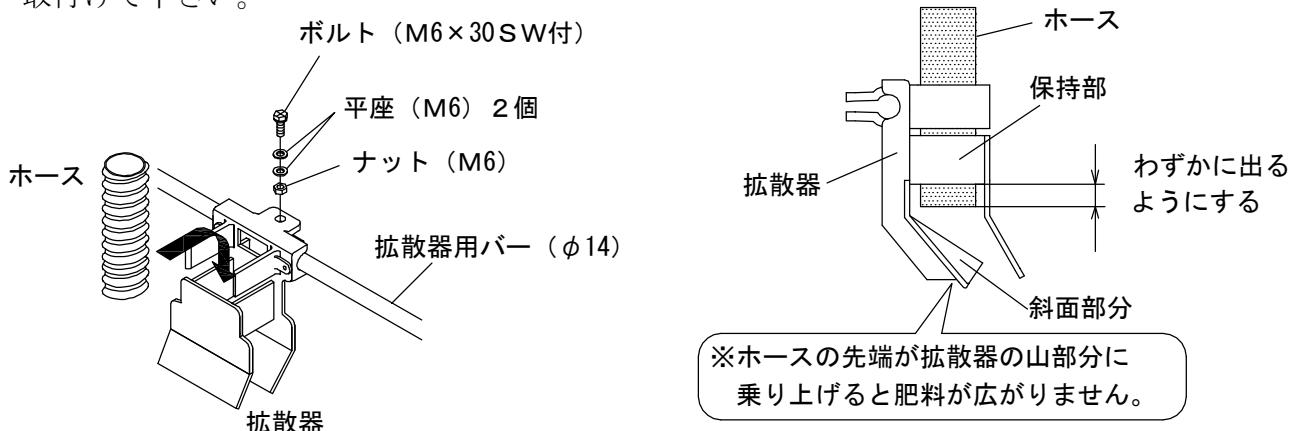
※長期保管する場合はホースにクセがついてしまいますので、拡散器からホースを外してから回転させて下さい。

ホッパーの開閉にて、ロックが掛けた状態でガタが大きくなってきた場合、中央フレーム及びサイドフレームについている六角ボルトでガタを調整して下さい。



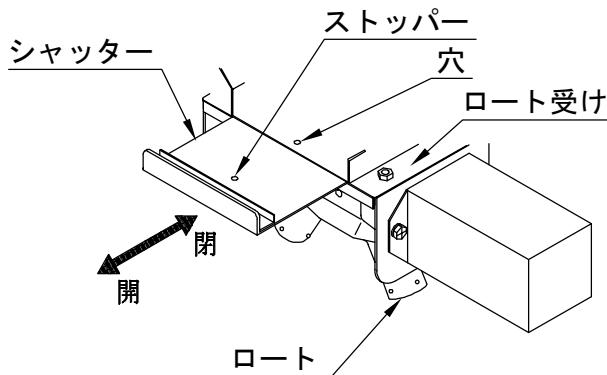
E. ホースの取付け

ホースは拡散器の保持部よりもわずかに出るように、矢印の方向から押し込むようにして取付けて下さい。



■ 散布分けの仕方

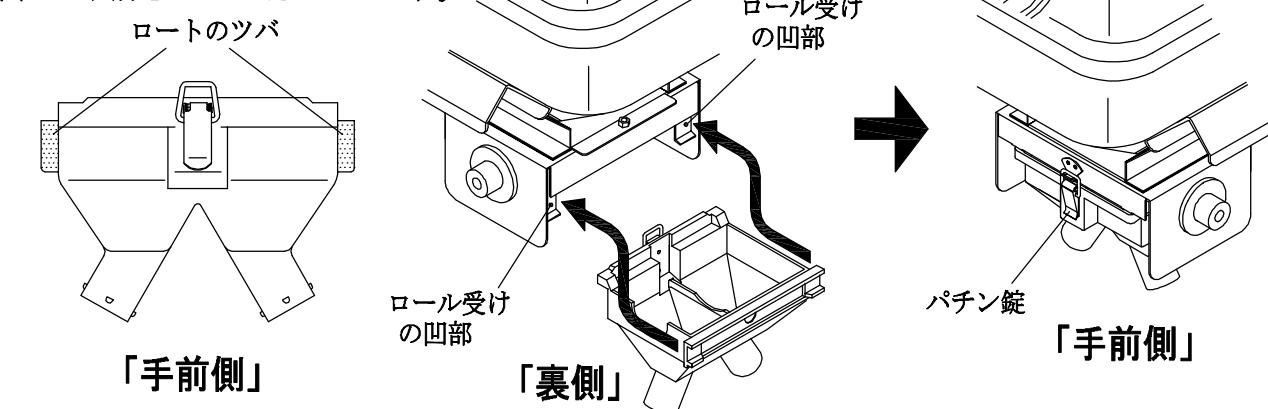
スイッチボックスで各ホッパーごとの散布分けは可能です。 ロート単位で行いたい場合、下記を参考下さい。



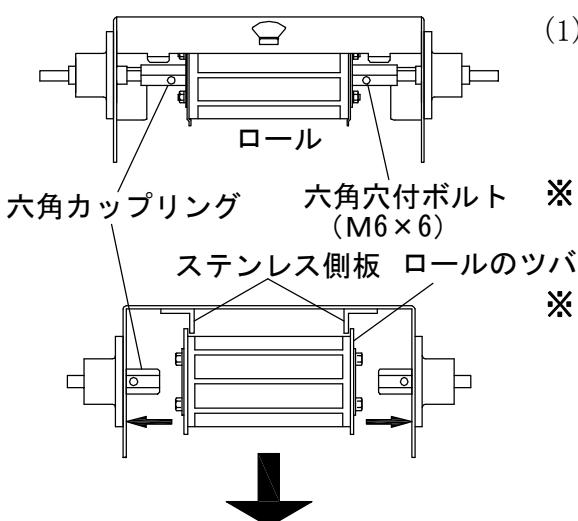
- (1) 各ロート単位でシャッターがあります。
 - (2) シャッターを閉めると、そのロートから出ているホースの肥料散布を停止することが出来ます。
- ※ シャッターを閉めても、ロールの中に入っている肥料は排出されます。（約5～6秒間）
- ※ シャッターの開閉は、ストッパーがロート受けの穴に入るまで確実に行って下さい。

■ ロート取付時の注意

- (1) ロール受け裏側にある凹部にロートのツバを入れます。
- (2) 手前をパチン錠で止めます。



■ ロールの外し方



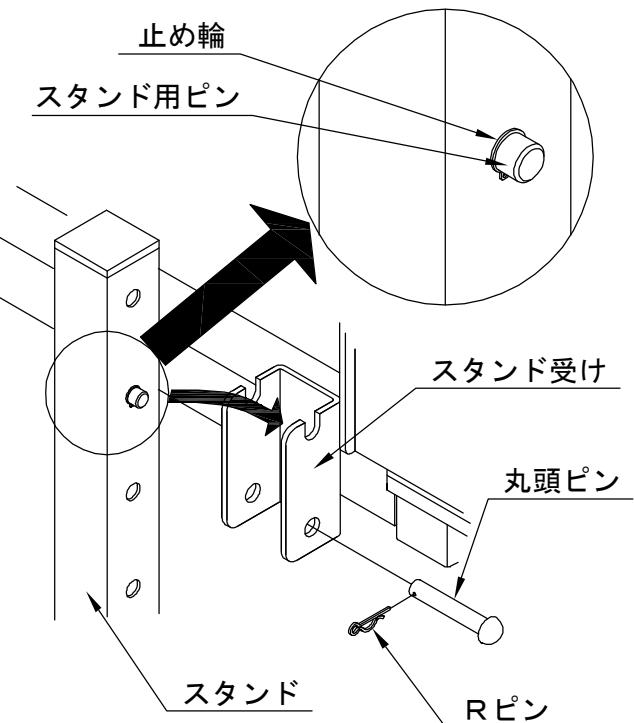
- (1) 六角穴付きボルトをゆるめ、六角カップリングを左右にずらし、ロールを外します。
(六角レンチ 5 mm 使用)

※ ロールをセットするとき、ロールのツバが両側ともステンレス側板の外側になるように注意して下さい。

※ ロールをセットするとき、六角穴付きネジは軸の平らな面に押付けてください。

■ スタンドの取付

- (1) 散布機をスタンドが装着できる程度に上げて下さい。
- (2) スタンドを本体のスタンド受けに取付けて下さい。スタンド用ピンの止め輪がスタンド受けの内側になるようにして、スタンドをスタンド受けに引掛けます。
- (3) スタンドとスタンド受けの穴を合わせ、丸頭ピンを取付けて下さい。
- (4) スタンド装着後、Aフレームのロックを解除し散布機を下げると散布機を取り外せます。



■ 使用後の管理

A. その日の作業が終わった時 (点検や掃除の際は必ずスイッチを切って下さい。)

- (1) ロールを回転させて、ホッパー内に残った肥料は完全に排出して下さい。 (散布目盛 10)
- (2) 拡散器に付着した肥料や泥土は、よく取り除いて下さい。
- (3) ホッパー内部及びブラシ、ロール等の水濡れは翌日の作業に影響しますので、雨・夜露等水がかからないように十分注意して下さい。
- (4) ホッパーのフタは必ず、フタの金具がホッパーのふちに引っかかるように確実に押し込んで下さい。

B. 全作業が終わった時 (配線途中のコネクターを外して下さい。)

- (1) ホッパーの内外をよく清掃して下さい。 (水洗いはしないで下さい。)
水がかかった場合は完全乾燥して下さい。
- (2) ロートを外すとブラシが見えますので、ブラシの間に残った肥料をよく取り除いて下さい。
- (3) フレーム等に付着した肥料をよく落として下さい。
- (4) ロート及びホースを外し、付着した肥料をよく取り除いて下さい。
- (5) ロールを外し、付着した肥料をよく取り除いて下さい。
- (6) コントロールボックスなど電気部品に水がかからないように注意して下さい。
- (7) ホースにクセが付きますので、拡散器より外した状態で保管して下さい。
- (8) ホッパーのフタは必ず、フタの金具がホッパーのふちに引っかかるように確実に押し込んで下さい。

※ 肥料等の散布剤は、強い酸性を有していますので、掃除は念入りに行い完全に乾燥させて下さい。

■ 故障の原因と対応について

肥料散布機の動作がおかしい時、以下の項目に沿って故障の原因を探して下さい。

※ コネクターの差込み不良や接触不良も動作不良の原因になるので確認して下さい。

トラブル 内容	考えられる 原因	お客様にご確認して いただきたい事項
ヒューズが 切れる	ケーブルの ショート	車輪での巻き込みやペダルでの圧迫によりショート していませんか？ショート部分を修復して、巻き 込まれない位置にケーブルを通して下さい。
	ホッパー内肥料の しまり	肥料を事前に投入して、シャッターを開けたまま 路上走行していませんか？ 肥料の投入は圃場で行って下さい。
	ロール軸の固着 残存肥料の固着	ロールやロール軸に肥料が固着していませんか？ ロートを外してロール周りの肥料を掃除して下さい。 ロールが異常に重い場合は、ロール軸を交換します。
	モーター不良	過負荷要因を取り除いた後、モーターに12Vを直結 してもモーターが作動しない場合は、モーターを 交換します。
モーターが 回らない	ヒューズ切れ	ヒューズが切れていませんか？指定された容量の ヒューズ（5 A）に交換して下さい。 (原因を取り除ぞいてからヒューズを交換して下さい。)
	バッテリー端子の 接続不良	バッテリー端子の腐食やネジの緩みはありませんか？ 端子の腐食を磨いてネジをしっかりと締めて下さい。
	バッテリー端子の 逆接続	バッテリー端子の+/-を逆につないでいませんか？ 正しくつなぎ直して下さい。
	ケーブルの 断線	車輪などに巻き込まれてケーブルが断線していませんか？断線箇所をつないで巻き込まれないように ケーブルを通して下さい。
	ロール軸の固着 残存肥料の固着	ロールやロール軸に肥料が固着していませんか？ ロートを外してロール周りの肥料を掃除して下さい。 ロールが異常に重い場合は、ロール軸を交換します。
散布量の調節が 出来ない	散布ロールの 溝詰まり	ロールの溝の中に肥料が詰まっていますか？ ロートを外してロールの溝を掃除して下さい。
肥料がうまく まけない	大径肥料や湿った 肥料の使用	大径肥料や湿った肥料を使用していませんか？ ロールの溝幅を超えるものや湿ったものは散布できません。（粒径 6 mm以上、ペレット長さ10mm以上）

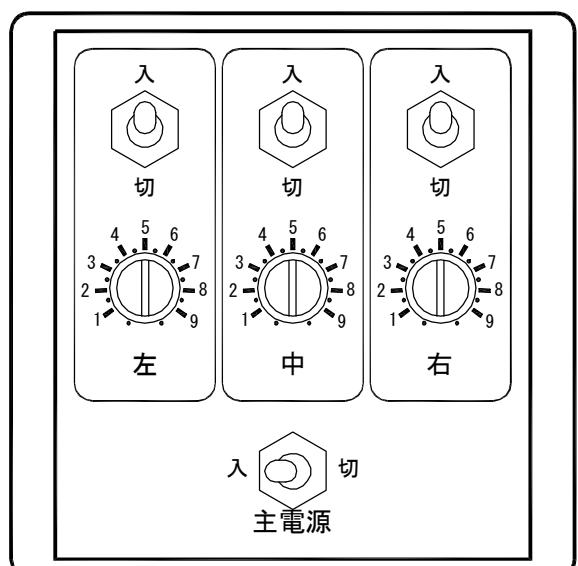
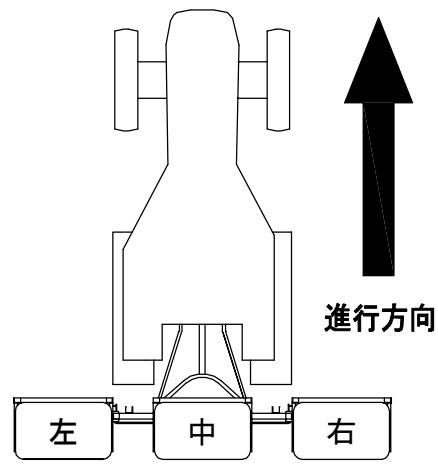
■ 操作説明（スイッチボックス）

- (1) 肥料の散布量の調節を、ツマミで調整します。
目盛りは下記の『散布量目盛りの決め方』
を参考に決めて下さい。
- (2) 各ホッパーごとのスイッチを「入」にします。
各ホッパーごとのスイッチで、作業状況に
よってのホッパーごとの播き分けが可能です。
- (3) 主電源のスイッチを入れにします。「入」にすると
モーターが回り、肥料の散布が行えます。
(各ホッパーごとのスイッチが「入」の場合、
主電源スイッチで、全ホッパーの散布・
停止が行えます。)
- (4) 作業が終了したら主電源スイッチを「切」に
して下さい。

※バッテリーの $\oplus\ominus$ を逆に接続すると、
電源スイッチを入れにしても動作しません。

※肥料は必ず圃場で投入して下さい。
肥料を入れたまま走行すると、振動等により
肥料がしまり、ヒューズ切れなど故障の
原因となります。

※同じ目盛りにしてもホッパーごとの繰出し
量は、投入物によって2%程度の違いが
出ることがありますが、故障ではありません。

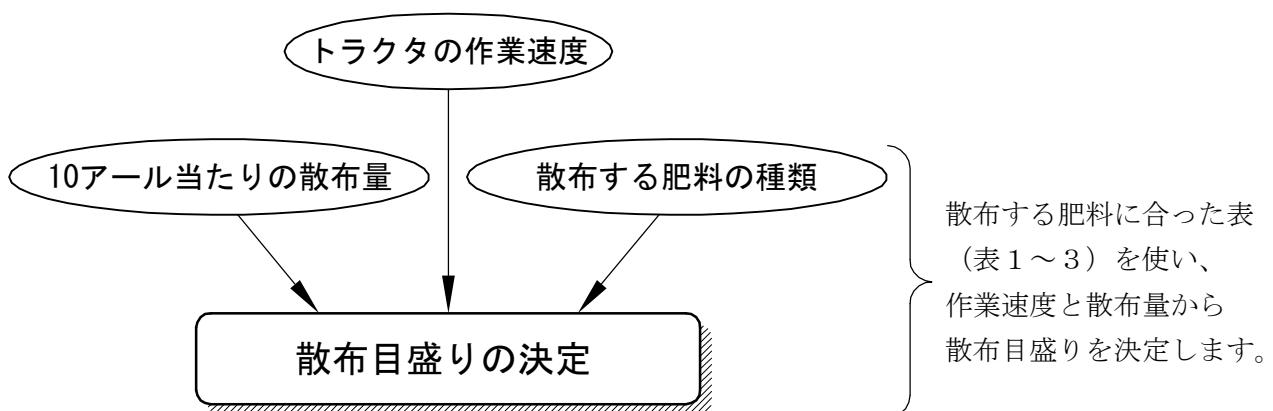


スイッチボックス盤面

■ 敷設量目盛りの決め方

※肥料の形状、比重によって敷設量は変わります。

表で求めた目盛りは目安ですので、必ずテスト散布後に目盛りを決めて下さい。



■ 表 1 粒状化成（中粒）の散布目盛り

参考肥料：DHC 高度化成 14-14-14

(例) トラクターの車速が 4 [km/h]で、散布する肥料の量が 100 [Kg]の場合、目盛りは 7.0 となります。

10a当りの散布量	20kg	30kg	40kg	60kg	80kg	100kg	120kg	140kg	160kg	200kg	250kg	300kg
トラクターの車速 【km/h】	8.0	2.2	3.8	5.4	8.6							
	7.0	1.9	3.2	4.6	7.4							
	6.0	1.5	2.6	3.8	6.2	8.6						
	5.0	1.1	2.0	3.0	5.0	7.0	9.0					
	4.0		1.5	2.2	3.8	5.4	7.0	8.6				
	3.5		1.2	1.9	3.2	4.6	6.0	7.4	8.8			
	3.0			1.5	2.6	3.8	5.0	6.2	7.4	8.6		
	2.5			1.1	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	9.0	
	2.0				1.5	2.2	3.0	3.8	4.6	5.4	7.0	9.0
	1.5					1.5	2.0	2.6	3.2	3.8	5.0	6.5
	1.0						1.1	1.5	1.9	2.2	3.0	4.0

■ 表 2 ヨウリン（砂状）の散布目盛り

参考肥料：ようりん

(例) トラクターの車速が 4 [km/h]で、散布する肥料の量が 100 [Kg]の場合、目盛りは 3.8 となります。

10a当りの散布量	40kg	60kg	80kg	100kg	120kg	140kg	160kg	180kg	200kg	250kg	300kg	400kg
トラクターの車速 【km/h】	8.0	2.9	4.7	6.6	8.5							
	7.0	2.4	4.0	5.7	7.3	9.0						
	6.0	1.9	3.3	4.7	6.2	7.6	9.0					
	5.0	1.5	2.6	3.8	5.0	6.2	7.3	8.5	9.7			
	4.0	1.0	1.9	2.9	3.8	4.7	5.7	6.6	7.6	8.5		
	3.5		1.6	2.4	3.2	4.0	4.9	5.7	6.5	7.3	9.4	
	3.0		1.2	1.9	2.6	3.3	4.0	4.7	5.5	6.2	7.9	9.7
	2.5			1.5	2.0	2.6	3.2	3.8	4.4	5.0	6.4	7.9
	2.0			1.0	1.5	1.9	2.4	2.9	3.3	3.8	5.0	6.2
	1.5					1.2	1.6	1.9	2.3	2.6	3.5	4.4
	1.0							1.0	1.2	1.5	2.0	2.6

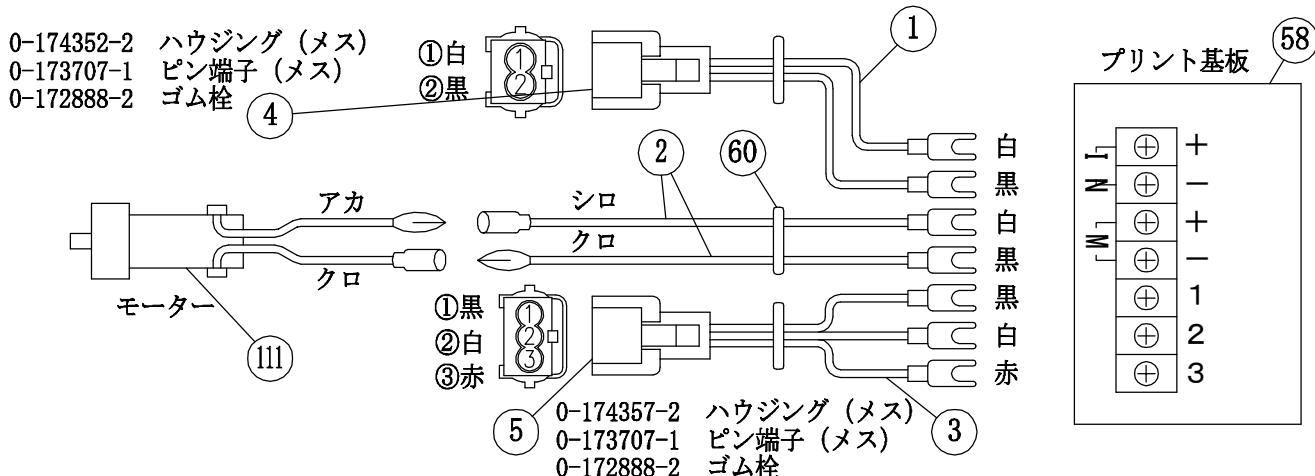
■ 表 3 ペレット の散布目盛り

参考肥料：有機ペレット 根菜808

(例) トラクターの車速が 4 [km/h]で、散布する肥料の量が 100 [Kg]の場合、目盛りは 7.7 となります。

10a当りの散布量	20kg	30kg	40kg	60kg	80kg	100kg	120kg	140kg	160kg	200kg	250kg	300kg
トラクターの車速 【km/h】	8.0	2.8	4.4	6.0	9.3							
	7.0	2.4	3.8	5.2	8.1							
	6.0	2.0	3.2	4.4	6.9	9.3						
	5.0	1.6	2.6	3.6	5.6	7.7	9.7					
	4.0	1.2	2.0	2.8	4.4	6.0	7.7	9.3				
	3.5	1.0	1.7	2.4	3.8	5.2	6.7	8.1	8.8			
	3.0		1.4	2.0	3.2	4.4	5.6	6.9	7.5	9.3		
	2.5		1.1	1.6	2.6	3.6	4.6	5.6	6.1	7.7	9.7	
	2.0			1.2	2.0	2.8	3.6	4.4	4.8	6.0	7.7	9.7
	1.5				1.4	2.0	2.6	3.2	3.5	4.4	5.6	7.2
	1.0					1.2	1.6	2.0	2.2	2.8	3.6	4.6

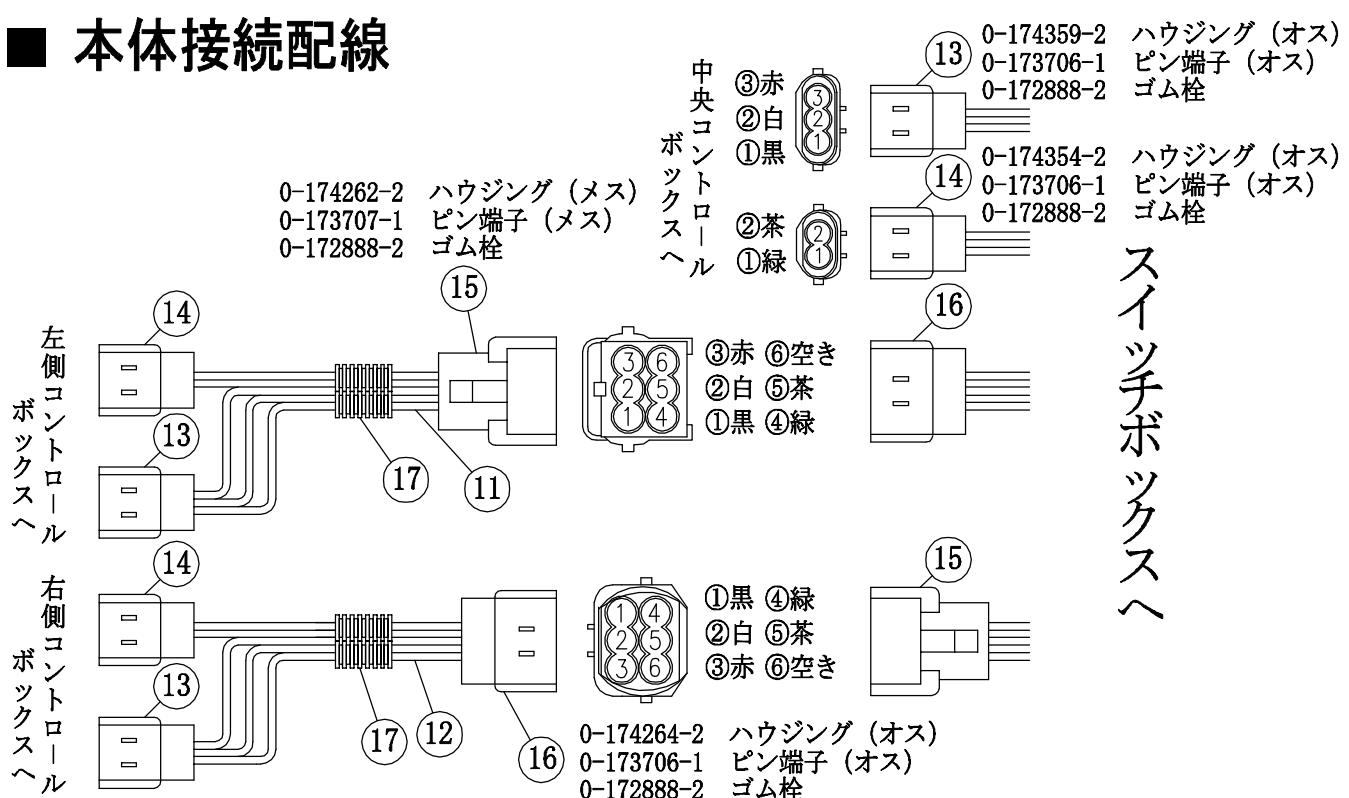
■ コントロールボックス内部配線



■ 部品表 コントロールボックス内部配線

No	部品名	員数	No	部品名	員数
1	電源線コネクター F	3	4	2Pコネクター (メス) ピン・ゴム栓付	3
2	モーター線	3	5	3Pコネクター (メス) ピン・ゴム栓付	3
3	ボリューム線	3			

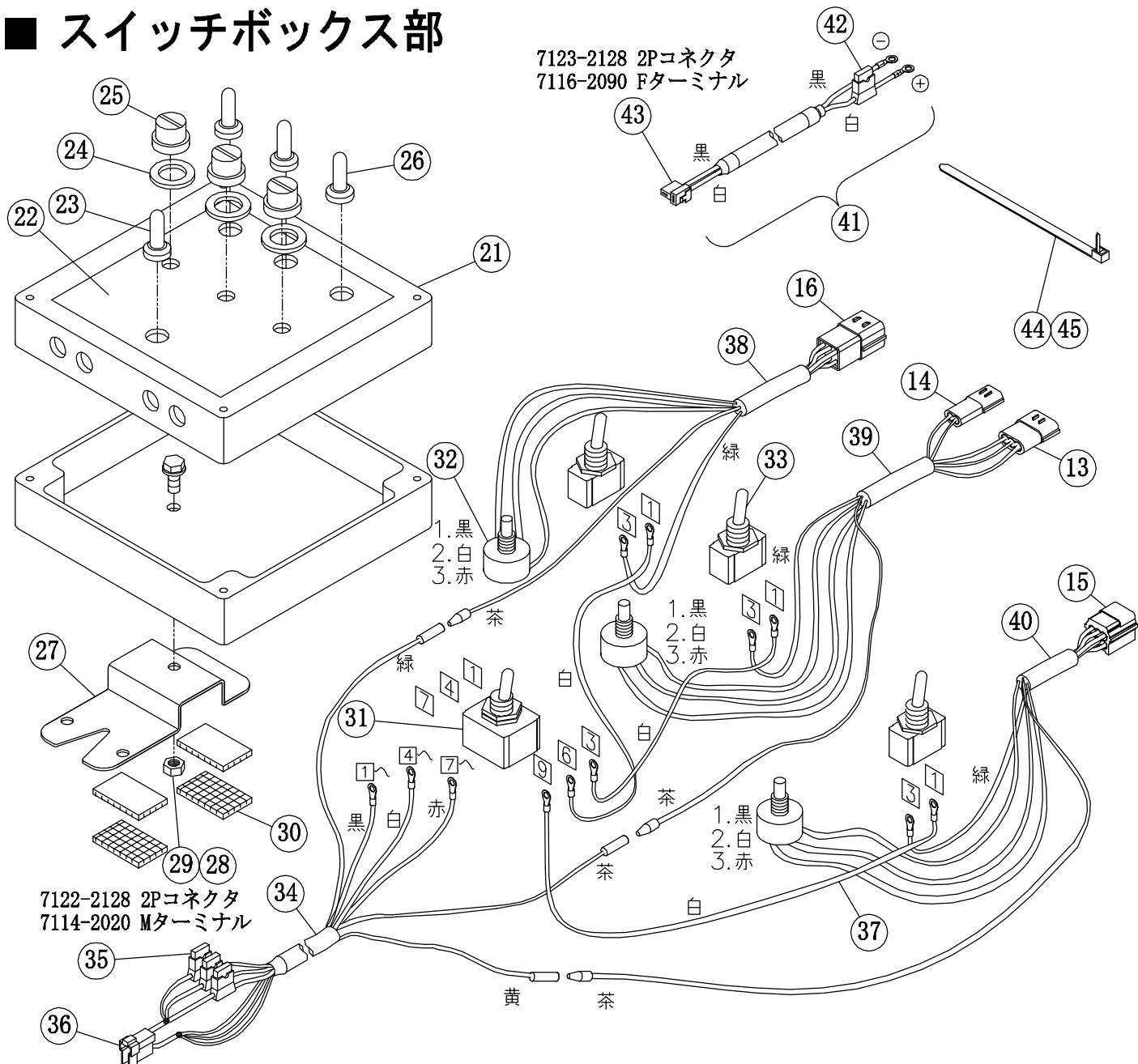
■ 本体接続配線



■ 部品表 本体接続配線

No	部品名	員数	No	部品名	員数
11	出力渡りケーブル(左用)	1	15	6Pコネクター (メス) ピン・ゴム栓付	2
12	出力渡りケーブル(右用)	1	16	6Pコネクター (オス) ピン・ゴム栓付	2
13	3Pコネクター (オス) ピン・ゴム栓付	3	17	コルゲットチューブ 呼び径10 500mm	2
14	2Pコネクター (オス) ピン・ゴム栓付	3			

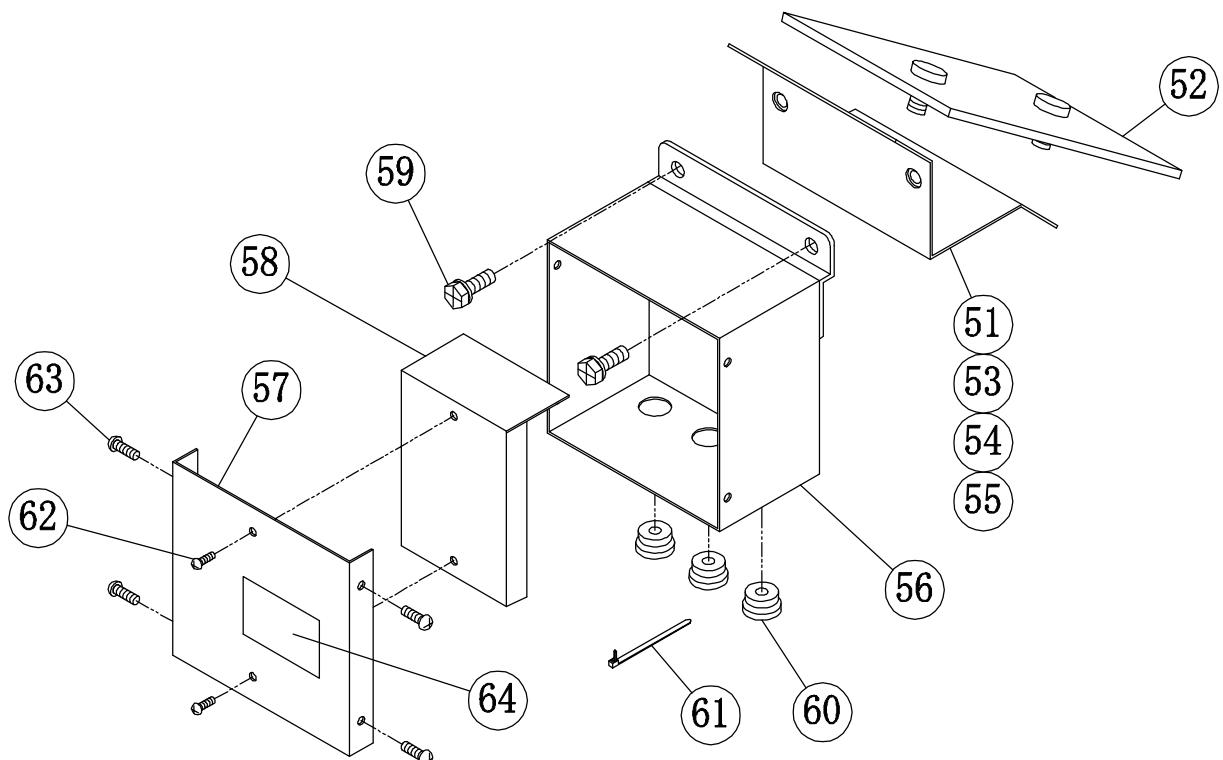
■ スイッチボックス部



■ 部品表 スイッチボックス部

No	部品名	員数	No	部品名	員数
21	スイッチボックス(GA型)	1	34	電源ケーブル	1
22	散布スイッチ用シール	1	35	平型ヒューズ(5A)	6
23	防水キャップ WD1811R	1	36	2Pコネクター(メス)ピン付	1
24	Φma座	3	37	電源渡り線	3
25	Φma B-20	3	38	出力ケーブル(左用)	1
26	防水キャップ WD1811Z	3	39	出力ケーブル(中用)	1
27	スイッチ取付座	1	40	出力ケーブル(右用)	1
28	バネ座付六角ボルト M6×15	1	41	バッテリー用延長コード	1
29	六角ナット M6	1	42	平型ヒューズ(15A)	2
30	マジックテープ	4	43	2Pコネクター(オス)ピン付	1
31	トグルスイッチ WD1421F	1	44	リリースタイ RELK-2R	10
32	ボリューム	3	45	インショックタイ AB-150(ケーブル抜止め)	4
33	トグルスイッチ WD1021F	3			

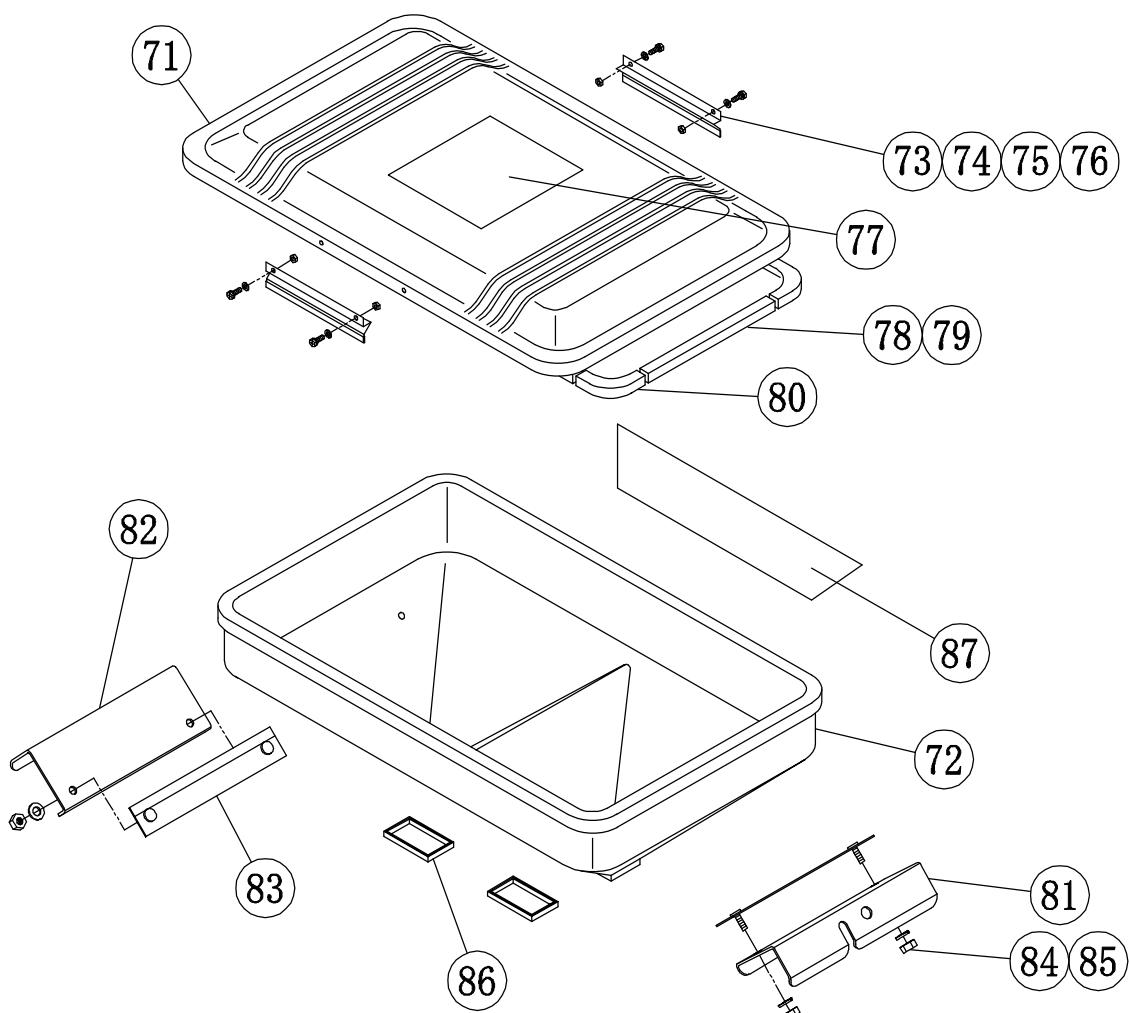
■ コントロールボックス部



■ 部品表 コントロールボックス部

No	部品名	員数	No	部品名	員数
51	コントロールボックス受け50	3	58	基板ユニット 5A	3
52	当て板	3	59	バネ座付六角ボルト M6×15	6
53	六角ナット M8 SUS	6	60	グロメット B8-1	9
54	平座金 M8 SUS	6	61	インシュロックタイ AB-100	9
55	バネ座金 M8 SUS	6	62	バネ座付十字ナベ小ネジ M3×6 SUS	6
56	コントロールボックス	3	63	十字穴付タッピンネジ M4×10 トラス1種	12
57	コントロールパネル F	3	64	製造シール TE-40-032	1

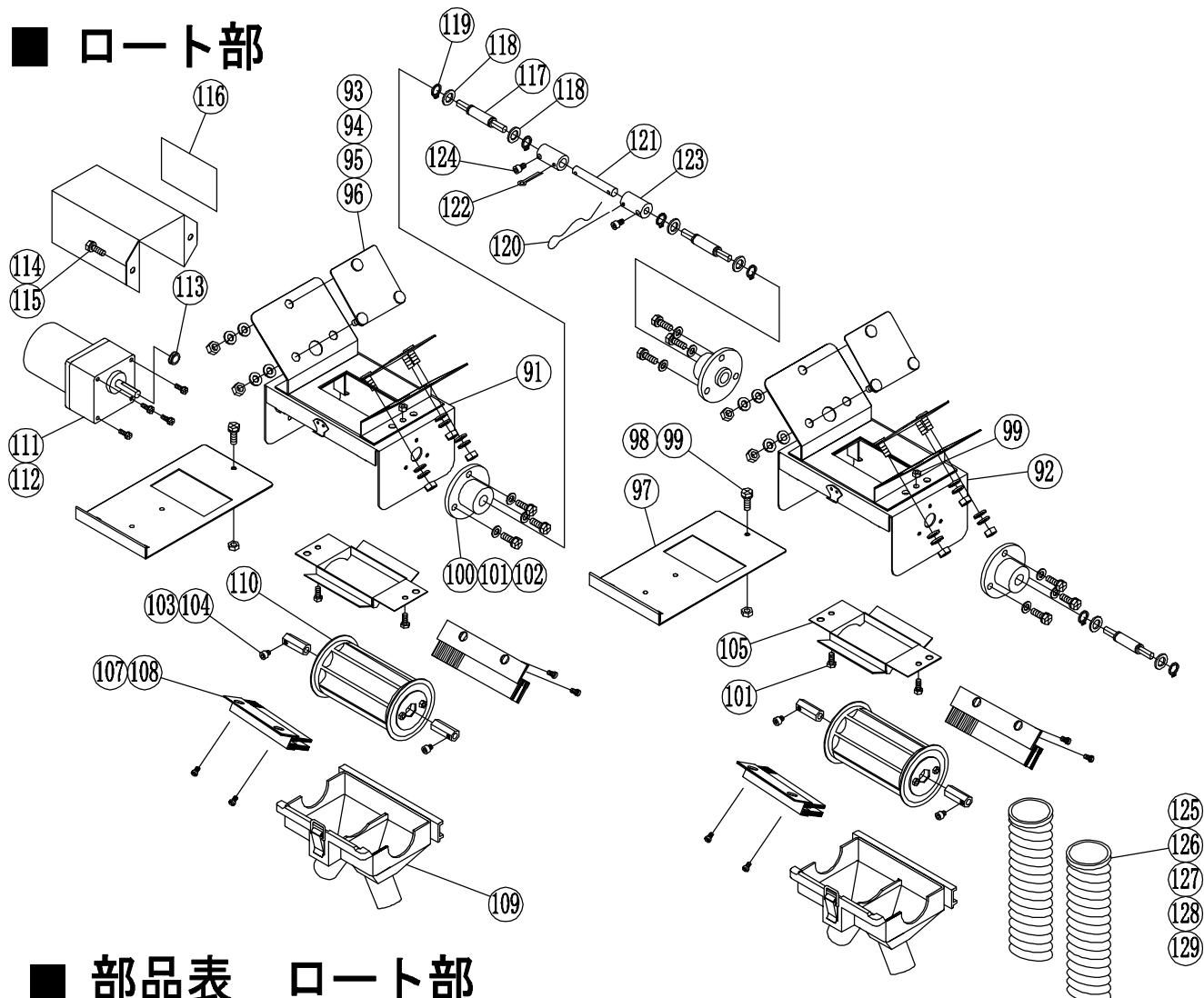
■ ホッパー部



■ 部品表 ホッパー部

No	部品名	員数	No	部品名	員数
71	フタ (70リッター)	3	80	エプトシール (コーナー用)	12
72	ホッパー70 (穴あり)	3	81	ホッパー金具A	3
73	フタストッパー	6	82	ホッパー金具B	3
74	バネ座付六角ボルト M6×10 SUS	12	83	ホッパー固定座50	6
75	平座金 M6 SUS	12	84	バネ座金 M8 SUS	12
76	六角ナット M6 SUS	12	85	六角ナット M8 SUS	12
77	散布量表 (UHW-450)	1	86	パッキン50	6
78	エプトシール (t5×20×L635)	6	87	ワイド散布機(UHW用) シール	3
79	エプトシール (t5×20×L305)	6			

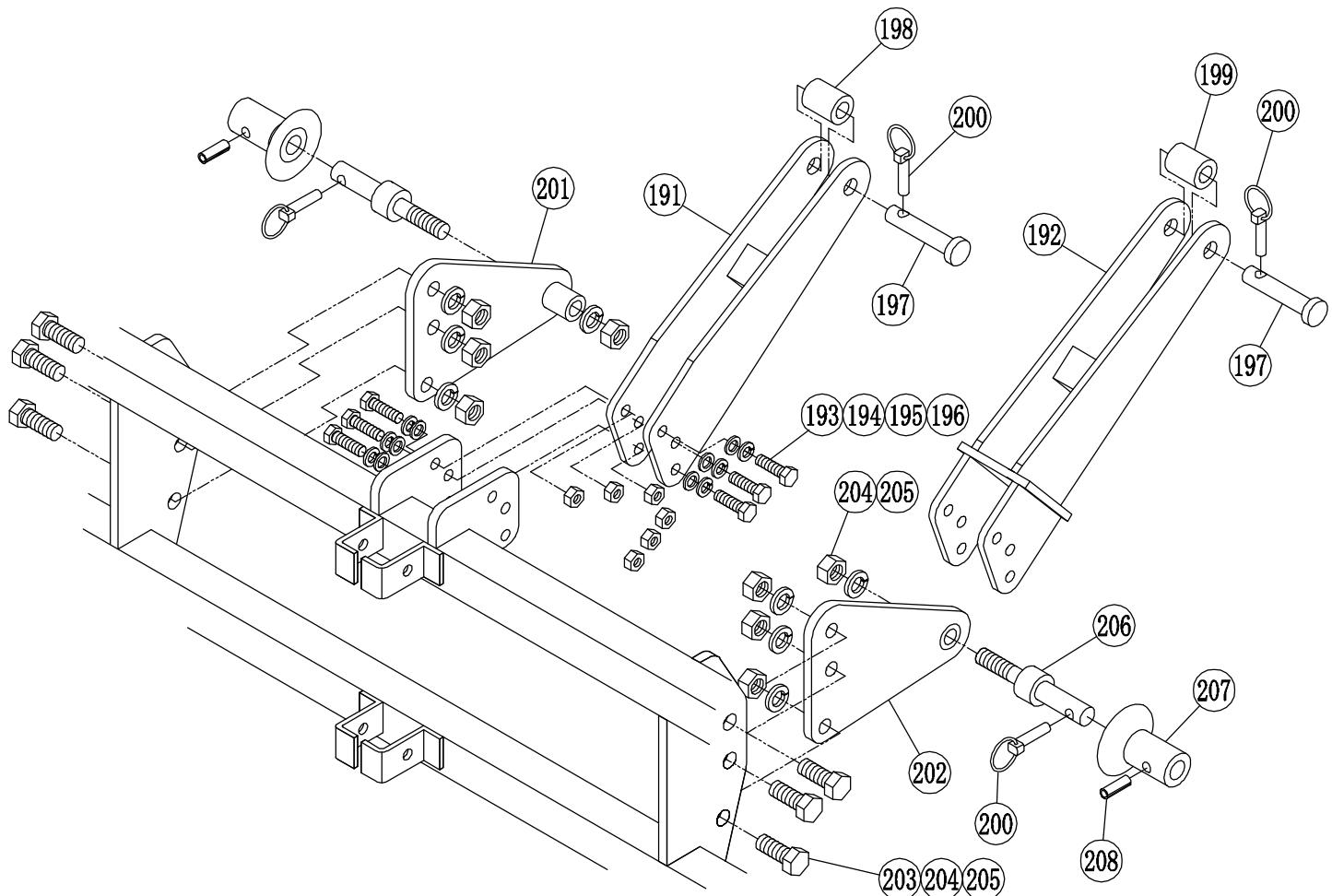
■ ロート部



■ 部品表 ロート部

No	部品名	員数	No	部品名	員数
91	ロール受部A（パチン錠ツメ付）	3	111	ギヤードモーター 20W	3
92	ロール受部C（パチン錠ツメ付）	3	112	バネ座平座付六角ボルト M4×15 SUS	12
93	ロール受け固定座	12	113	Vリング	3
94	バネ座金 M8 SUS	36	114	モーターカバー	3
95	平座金 M8 SUS	36	115	バネ座付六角ボルト M6×10	6
96	六角ナット M8 SUS	36	116	注意シール	1
97	シャッター	6	117	ロール軸 φ12	9
98	バネ座付六角ボルト M6×10 SUS	6	118	平座金 M12 SUS	18
99	六角ナット M6 SUS	18	119	C型止め輪 S12 SUS	18
100	ロール軸受	9	120	Rピン φ20用	3
101	バネ座付六角ボルト M6×15 SUS	39	121	ジョイント軸 φ10×110	3
102	平座金 M6 SUS	27	122	割ピン 4×L30	3
103	六角カップリングロング	12	123	ジョイント	6
104	六角穴付ボルト M6×6 SUS	12	124	六角穴付ボルト M6×10	6
105	ブラシ金具	6	125	ホース（内径φ31.8）L580	2
			126	ホース（内径φ31.8）L600	4
107	ブラシユニット120	12	127	ホース（内径φ31.8）L630	2
108	バネ座平座付十字ナベネジ M4×8 SUS	24	128	ホース（内径φ31.8）L670	2
109	ロート2口	6	129	ホース（内径φ31.8）L790	2
110	ロールユニット110	6			

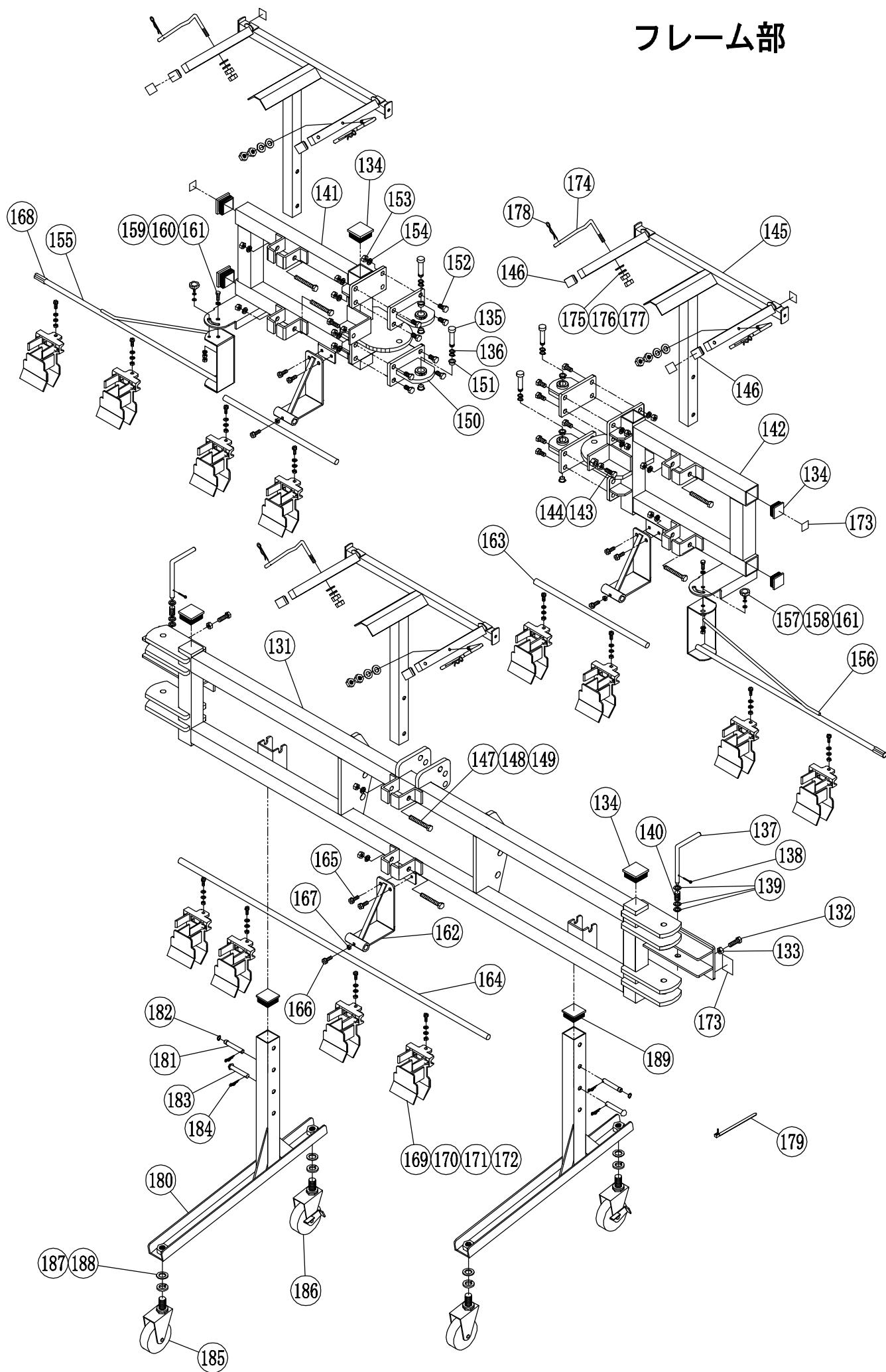
■ 3点リンク部



■ 部品表 3点リンク部

No	部品名	員数		No	部品名	員数	
		S型	L型			S型	L型
191	標0:1型トップ板(UHW用)	1	-	200	リンチピン	3	1
192	標1:2型トップ板(UHW用)	-	1	201	標0:1型 ロアー板左	1	1
193	六角ボルト M16×40×P1.5 10.9T	6	6	202	標0:1型 ロアー板右	1	1
194	六角ナット M16×P1.5 8.8T	6	6	203	六角ボルト M18×45×P1.5 10.9T	6	6
195	バネ座金 M16	6	6	204	六角ナット M18×P1.5 8.8T	8	8
196	平座金 M16	6	6	205	バネ座金 M18	8	8
197	トップリンクピン	1	1	206	標0:1型 ロアーピン	2	2
198	トップリンクカラー	1	-	207	ガイドカラー	2	2
199	標1:2型トップカラー	-	1	208	ロールピン	2	2

フレーム部



■ 部品表 フレーム部

No	部品名	員数
131	中央フレーム (UHW用)	1
132	六角ボルト M12×45×P1.25	2
133	六角ナット M12×P1.25	2
134	角中栓 □50×t3.2用	8
135	フレーム用ピン	4
136	C型止め輪 S15	8
137	開閉止め用ピン	2
138	割ピン 3.2×25	2
139	平座金 M14	6
140	バネ AP-190-044-2.0	2
141	サイドフレーム A	1
142	サイドフレーム B	1
143	六角ボルト M12×35×P1.25	2
144	六角ナット M12×P1.25	2
145	アーム広幅用	3
146	角中栓 □40×t2.3用	6
147	六角ボルト M12×90	6
148	六角ナット M12	6
149	バネ座金 M12	6
150	フレーム連結金具	4
151	フランジブッシュ LFF1510	8
152	六角ボルト M12×35	16
153	六角ナット M12	16
154	バネ座金 M12	16
155	拡散器固定 (4.5m用) A	1
156	拡散器固定 (4.5m用) B	1
157	ノブボルト M8×20 SUS	2
158	バネ座金 M8 SUS	2
159	六角ボルト M8×35 SUS	2
160	六角ナット M8 SUS	4

No	部品名	員数
161	平座金 M8 SUS	6
162	ササエ (UHW用)	3
163	拡散器用バー φ14×L550	2
164	拡散器用バー φ14×L1200	1
165	バネ座付六角ボルト M8×20	6
166	六角ボルト M8×20	3
167	六角ナット M8	3
168	蛍光シール オレンジ70×50	2
169	拡散器	12
170	バネ座付六角ボルト M6×30 SUS	12
171	平座金 M6 SUS	24
172	六角ナット M6 SUS	12
173	反射シール 黄色 30×30	8
174	ホッパー固定ネジ	6
175	六角ナット M10	12
176	平座金 M10	6
177	バネ座金 M10	6
178	Rピン φ10	6
179	結束バンド AB-300	10
180	スタンドベース	2
181	スタンド用ピン φ12	2
182	C型止め輪 S12	2
183	丸頭ピン φ12×70	2
184	Rピン φ12用B型	4
185	キャスター SJT-100W ストップ無	2
186	キャスター SJT-100WS ストップ有	2
187	平座金 M20	4
188	バネ座金 M20	4
189	角中栓 □50×t1.6	2

■ 仕様諸元

型 式		UHW-450-S	UHW-450-L		
全幅 (mm)	散布時	4408			
	折りたたみ時	2178			
全高 (mm)		1064			
奥行き (mm)	829	841			
重量	187kg				
ホッパー容量	210リットル				
散布幅	4.5m				
散布量	30kg～120kg (作業速度【4km/h】時)				
※ 敷布対象肥料	粒状化成(2～6mm)・砂状(ケイカル・ヨウリン等)・有機ペレット(長さ10mm以下)				
量 調 節	ダイヤル目盛設定				
散 布 方 法	ロール繰り出し散布				
動 力	DC-12V ギヤードモーター 3基				
電 源	トラクターバッテリー				
適応トラクター	35～75ps				
付 属 品	専用スタンド(キャスター付)				
装着方式	日農工標準S型オートヒッチ 標準3P手動装着	日農工 標準L型オートヒッチ			

- ※ 詳細な散布量については本書「散布量目盛の決め方」の項を参照のこと
- ※ ホッパー容量はリットル表示です。肥料の比重により表示どおり入らない場合もあります。
- ※ 仕様は改良の為、予告なく変更することがあります。
- ※ 粒の大きいペレットや固いケイフン等では安定した散布が出来ない場合や、モーターがロックしてしまう場合があります。

製造元



株式会社タイショウ